学校番号	311

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	1/3 単位	年次	1 年次
使用教科書	新家庭基礎（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・家庭生活に関心を持ち、積極的に取り組みましょう。
・生活に関する知識や技術を身につける一方で、それらのもつ意味や在り方を人の一生との関わりの中で考えていきます。
・生活者としての立場から実際の生活を見つめ、課題を発見し、改善していけるような実践的な力を養うことを目的としています。
・「自分らしいライフスタイル」を探求し、より主体的に人生を送っていけるよう学習に取り組んでください。

2　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭、経済生活、消費生活、衣生活、食生活に関する知識と技術を総合的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	自分らしい生き方と家族	○家庭科の学び方 ・ホームプロジェクト ○自分らしい生き方と家族 ・自立と共生 ・ライフキャリア ・共に生きる家族 ・家族に関する法律	a:生涯発達の視点から、家族・家庭の意義、社会との関わりなどについて理解し、人の一生を自分の問題として捉えるための知識と技能を身に付けている。 b:生涯発達の視点から家族・家庭と社会との関わりについての課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:青年期の生き方や家族・家庭の意義や役割、男女の平等と相互の協力などについて関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート
	衣生活をつくる	○衣生活をつくる ・人と衣服のかかわり ・衣服の素材の種類と特徴	a:被服の機能、被服材料、被服の構成、被服管理、被服製作などについて科学的に理解し、健康で快適な衣生活を主体的に営むために必要な知識と技術を身に付けている。 b:被服管理と着装、健康で快適な衣生活などについて、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:被服管理と着装、健康で快適な衣生活、ライフスタイルと環境に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート
2学期	衣生活をつくる	○衣生活をつくる ・衣服をつくろう	a:被服製作に必要な知識と技術を身に付けている。 b:基本的な技術を応用して作品づくりに取り組んでいる。 c:意欲的に学習に取り組もうとし、作品を完成させた。	被服製作	被服製作	ワークシート

3学期	衣生活をつくる	○衣生活をつくる ・衣服の選択から管理まで ・持続可能な衣生活をつくる ・私たちがつなぐ衣生活の文化	a:被服の機能、被服材料、被服の構成、被服管理、被服製作などについて科学的に理解し、健康で快適な衣生活を主体的に営むために必要な知識と技術を身に付けている。 b:被服管理と着装、健康で快適な衣生活などについて、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:被服管理と着装、健康で快適な衣生活、ライフスタイルと環境に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度